

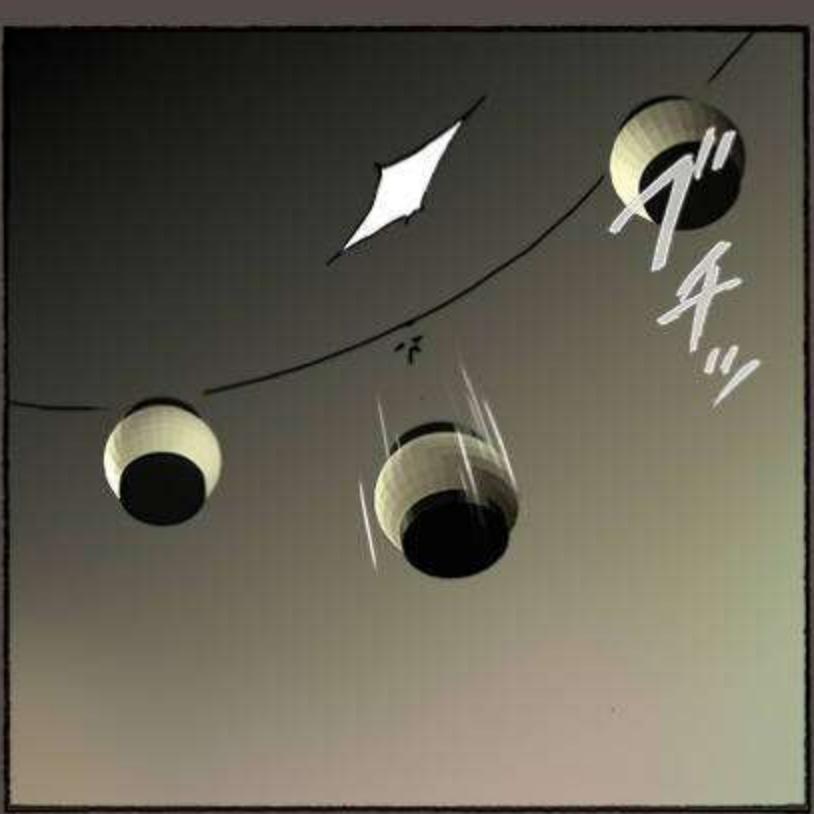
東方浮世絵巻 聖なる船の奇跡の軌跡 3



FOR ADULT













そうして、どこか休める場所に行こう、ということになつて
ぼくたちは個室のある酒屋に入ることにした



外観はちょっと古びていたが、
中はそこそこ綺麗な建物だ
つゆ知らず：

部屋には先客が待っていたとは









真っ裸にした二人を並べて
楽しんでやることにした

ハ雲紫の方を手で面倒見て
やることにする
「それじや足りないのにい♡」
可愛物欲しきうに言つた姿が

ぐちゅ
ぐちゅ

びくんびくん、と二人共
元気に体が弾ける

「イク、イク！ イッちゃうう」と
絶頂を迎へそうになつたので
そのままイカせてやつたので

ぐりゅ
ぐりゅ
ぐりゅ
ぐりゅ

みるとハ雲紫の股から液体がどんどん溢れていた

僕の出した精液だけじゃない
どうやら隣の幽々子さんも絶頂に達してた
ようだつた

股を洪水させちやつていてる

二回目の中出しに見ていたら
イキ顔をじっくりおまんここの締めつけが

ヒュル!! ヒュル!! ヒュル!!

あ、深

あ、古

はよ、

ぱ、
ロ、
モ、

ず、
ぶ、
ず、

ず、
ぶ、

ホカ

ホカ

ヒク、
ミ

ヒュル!! ヒュル!! ヒュル!!



幽々子さんは隣で彼女の様子を眺めている

ハ雲紫と二回戦目だらしないやつを激しく垂れ気味の

おつぱいを激しく揺らしている



トロトロになつた
才幽々子さんが隣で
ナニーを始めていた

がつしりと腰を振り続ける
がつしりと腰を振り続ける

脚をあげ、がつしりと
逃すもんかつてかんじだ



彼女の足の中にたっぷりと絶頂を迎えたのか、
脚をひんと張らせていて

歯を食いしばるようにして

